

慶應 OG、OB による 伝統芸能の世界

— 2012 連合三田会大会記念公演

出演者のご紹介

ウーロン亭ちゃ太郎

(本名：重本正明)

昭和 30 年 文学部卒

1955 年 山口県岩国市生まれ。東京藝術大学音楽学部声楽科を受験し首席で失敗、慶應義塾大学文学部史学科卒 (1979)。数度の転職の後、32 歳で素人落語を始める。34 歳で、歌いながらオペラのストーリーを語る「オペラ落語」を開発。37 歳でプロ宣言し第一人者となる。その後、全国各地で 2000 ステージを務め、50 歳で「オペラ落語」を封印。現在はオペラ・ナビゲーターとして活動中。ちゃ太郎・オペラ・カンパニー座長。



ケント綱島

(本名：綱島憲)

昭和 48 年 法学部卒

マジック歴 25 年。横浜マジシャンズクラブ副会長。朝日カルチャーセンター、相模原カルチャーセンターなどのマジック講座の講師。今回はイリュージョンのような大掛かりなマジックではなく、大人から子供まで分かりやすくそしてとっても不思議なマジックを中心に演じる予定です。是非ご来場ください。お待ちしております。



吉村ゆら

(本名：三條寛子)

昭和 58 年 法学部卒

上方舞吉村流名取師範。日本舞踊協会会員。上方舞「たまゆら會」主宰。今話題のスカイツリーの御膝元、向島で上方舞のお稽古場を開いております。毎秋に開くお弟子さん方との発表会も、今年で 9 回目となりました。心の「動」を、身体の「静」で表現する上方舞の面白さを、もっと身近に感じていただければ……と願っております。

たまゆら會ホームページ <http://tamayurakai.com/>



藤間太嘉子

(本名 小林綾子)

平成 3 年 文学部卒

1968 年墨田区向島生まれ。平成 3 年学部卒業 同大学院で学びながらトルコ共和国での発掘作業に参加。大学在学中より生家「料亭 きよし」を手伝い 2010 年より三代目女将。3 歳より日舞の稽古に励み、平成 15 年藤間太嘉子として師範を取得。「向島で料亭に育まれてきた、和の文化の魅力を知ってもらいたい」との気持ちから、早稲田大学エクステンションセンターの講師などを務め、各種団体などでの講演を各地で行っている。



山本普乃

(本名 加藤普乃)

平成 4 年 文学部卒

細棹三味線を主とし、古典からオリジナル曲迄、ノンジャンルに活動中。NHK 邦楽オーディション合格。全国邦楽コンクール他受賞。映画「舞妓 Haaaaan!!!」他、ラジオ、TV ドラマへの出演や音楽制作協力多数。

CD『流』『滴』『お座敷唄 山本ゆきの 1』発売中。女三味線弾き「ねのいろ」代表。音緒乃会主宰。山本普乃ホームページ <http://yukino.kazekusa.jp>



伊吹清寿

(本名：田代治之)

平成 7 年 環境情報学部卒

横浜市出身。杵屋佐之忠師に長唄を師事、杵屋佐之義の名を許される。のちに浅井丸可師に就き端唄・小唄を学ぶ。平成 24 年 6 月浅井派より独立。伯母・伊吹寿栄の創流した伊吹派を再興すべく、伊吹清寿と改名。長唄三味線方として活動するほか、端唄・小唄の唄方、三味線方として演奏活動を行う。平成 17 年 7 月、日本伝統文化財団主宰「ビクター小唄まつり」にて市丸賞受賞。



若林鶴雲

(本名：若林誠二)

昭和 47 年 商学部卒

サラリーマンを定年退職後、ボランティア活動として「講談」を社会福祉施設などで披露しています。得意な演目は「忠臣蔵」。今回は連合三田会大会のイベントに合わせて「慶應音頭誕生物語」と題した新作講談を作りました。慶早戦の歴史、応援歌「若き血」はどうして生まれたのか、藤山一郎先輩が作曲した「躍る太陽」「慶應音頭」の誕生秘話など、塾生・塾員にとって興味深い内容が盛り込まれています。

